

現代名古屋文化（名古屋文化論）2018年度レポートテーマ

担当・長坂英生

計15回の講義では多数の写真を示しながら、戦後の名古屋の歴史・文化を取り上げてきた。取り上げたテーマの中から、現存する建物や構造物、モニュメントなどを選んで、現地に赴き調べる。

(1) レポートは①その建物や構造物、モニュメントなどが、どのような歴史を持ち、どのような構造をしているか②また、その現地に立ったとき自分はどう感じたかなどを400字程度にまとめる。

①については、建物や構造物、モニュメントなどの公式HPや公式パンフレット、あるいは現地にある説明版を参考にする（個人のブログやウィキペディアなど非公式のものは間違いが多いため参考にしないこと）。

(2) また、現地に赴いた「証拠」として写真を撮り、レポートに添付する。

(3) 提出物の様式は原則「指定ひな型」とする。

本レポートでは、座学で学んだことを、フィールドワークによって補完し、かつ現場に立つことで感性を呼び覚ますことを目的としている。必ず、現地に赴くこと。

<レポート受付期間>

7月30日～8月1日

<提出場所>

教務課

以上